

カンパチ親魚を豊かな海づくり協会へ 移送しました

令和7年7月18日 水産技術開発センター

7月17日、カンパチ人工種苗の安定供給を目的として、当センターで親魚養成しているカンパチ（人工種苗第3世代：F3）を、「豊かな海づくり協会（以下、協会）」での種苗生産に活用してもらうため、活魚車で移送しました。

協会が保有するカンパチ親魚に今回の親魚が加わり、より一層、カンパチ稚魚の量産に繋がればと期待しています。



センターで養成中のカンパチ親魚



移送前にカンパチ年齢・雌雄を確認



活魚車への積込み作業（1尾10kg オーバーのため、2人掛かりで運搬）

